

市立幼稚園の園舎を開放



○お問い合わせ
こども支援課保育・教育係
☎22-7458

幼稚園	とき	時間	駐車場
すずかけ幼稚園 ☎25-6322	7月24日(火)~27日(金)	9時30分~11時	なし
西小名浜幼稚園 ☎54-2210	7月24日(火)~26日(木)		小名浜第二小学校裏園舎前
江名幼稚園 ☎55-7041	7月24日(火)~27日(金)	9時30分~11時30分	園舎西側
錦幼稚園 ☎62-3201		9時30分~11時	汐見が丘小学校正門前
汐見が丘幼稚園 ☎63-9827	7月24日(火)~27日(金)、31日(火)	9時30分~11時30分	園舎西側、湯本第一中学校
湯本第一幼稚園 ☎42-3260		9時30分~11時30分	園庭
湯本第三幼稚園 ☎42-2642	7月24日(火)~26日(木)	9時~11時	園舎前
藤原幼稚園 ☎44-4255	7月24日(火)・25日(水)、27日(金)、31日(火)		園庭
高坂幼稚園 ☎26-0204	7月24日(火)・25日(水)、27日(金)	10時~11時30分	園舎裏
宮幼稚園 ☎26-1917	7月24日(火)、27日(金)、31日(火)	9時30分~11時	旧園庭
四倉第一幼稚園 ☎32-6620	7月25日(水)・26日(木)	9時30分~11時	園舎そば
四倉第二幼稚園 ☎32-2403			

夏休みに合わせて、市立幼稚園の園舎（保育室一室）と園庭を開放します。利用する際は、受け付け

名簿に記入し、保護者が必ず付き添ってください。また、遊具や砂場道具などを貸し出しますので、使用后

は片付けてください。日程が変更となる場合がありますので、詳しくは各幼稚園へお問い合わせください。



※保育や託児は行いません。※玉川幼稚園と磐崎幼稚園は園舎工事のため、開放しません。

みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰

▷ 鮫川河川敷公園管理運営協議会（植田町）
同表彰は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった団体に授与されるものです。鮫川河川敷公園の樹木・花壇の手入れや、除草・清掃などの活動を年間30回以上実施していることが評価されました。

津波発生時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定を締結

6月15日、イオンモール株式会社と同協定を締結しました。

同協定に基づき、津波災害が発生した際、住民の皆さんや、観光客などが高台までの避難に十分な時間が確保できない場合、イオンモールいわき小名浜を津波避難ビルとして使用できます。

同施設の屋上駐車場が、避難場所となります。



津波災害に備え協定を締結

お知らせします 内部被ばく検査 甲状腺検査の結果

市では、市民の皆さんの安全・安心を第一に、放射線健康管理対策を行っています。

内部被ばく検査

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、日常生活の中で、食事などを通じて体内に取り込まれた放射性物質の量を測定する検査です。

昨年度末までに実施した検査の結果、受検者の預託実効線量は、全員が一ミリシーベルト未満であり、健康に影響が及ぶ数値ではあり



総合保健福祉センターで実施している内部被ばく検査

りませんでした（表1）。内部被ばく検査は、総合保健福祉センターで実施されています。また、地区ごとに巡回して検査を実施しており、順次、回覧などでお知らせしています。

継続して確認するため、平成二十七年に二回目の検査（本格検査）、平成二十九年に三回目の検査（本格検査）が実施されました。現在確定している三回目の検査結果は（表2）のとおりです。

甲状腺検査

県は、子どもたちの健康を生涯にわたり見守るため、甲状腺検査を実施しています。甲状腺検査は、一次検査後、結果に応じて二次検査を行う検査方式です。本市では、平成二十四年度から二十五年度にかけて、甲状腺の現状を把握するための一回目の検査（先行検査）が実施されました。さらに、甲状腺の状態を



2年ごとに実施される甲状腺検査

甲状腺検査は、対象者が二十歳を超えるまで二年ごとに行われます。四回目の検査は平成三十一年度の実施される予定です。

〈表1〉内部被ばく検査結果【平成23年11月21日~平成30年3月31日】

受検者数	預託実効線量		
	1ミリシーベルト未満	うち不検出	検出
122,330人	122,330人(100.0%)	121,156人(99.0%)	1,174人(1.0%)

※預託実効線量は、体内から受ける内部被ばく線量の累積線量（成人は50年、子どもは70歳まで）。

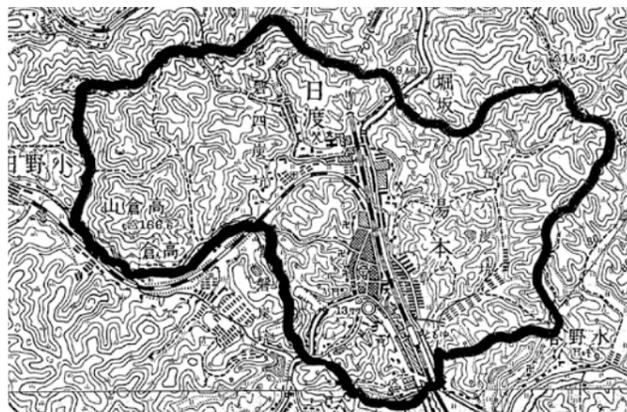
〈表2〉甲状腺検査（本格検査）の結果【平成30年3月31日現在】

判定内容		該当者数（※1）
A判定	1判定 （結節やのう胞を認めなかったもの）	8,901人(34.7%)
	2判定 （5.0mm以下の結節や20.0mm以下ののう胞を認めたもの）	16,546人(64.5%)
B判定（※2） （5.1mm以上の結節や20.1mm以上ののう胞を認めたもの）		205人(0.8%)
C判定（※2） （甲状腺の状態等から判断し、直ちに二次検査を要するもの）		0人(0.0%)
計		25,652人(100.0%)

※1 同検査の受検者36,162人のうち、結果が確定している25,652人を掲載しています。

※2 一次検査でB・C判定となった場合には、二次検査が行われます。二次検査の結果については、市ホームページをご覧ください。

○お問い合わせ
保健所総務課放射線
健康管理センター
☎27-8560



湯本村 (1 : 50,000地形図) 【昭和27 (1952) 年の平と昭和26 (1951) 年の小名浜の地形図を合成】

字名の成り立ち②

明治政府は明治十四(一八八一)年、太政官達において「各地二唱フル字ノ儀ハ其地固有ノ名称」であり「漫ニ改称変更不到」と、字名の改称は必要以上に行うべきでないとし示唆しました。その背景には、明治時代に入り字名の整理を命じたものの、あまりにも多くの字名が消え

地名の中の「いわき」

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

ていく状況があったものと思われる。

いわき地方においても、江戸時代末期の植田村には七十六の字名が存在していましたが、明治六(一八七三)年の地租改正を契機に字名はまとめられ、二十六に減少しました。また、岡小名村では百十七の字名が五十一まで減り、湯本村では九十六の字名が十九にまでまとめられました。

まとめられた字名は、地租改正前から存在していたものが残った以外に、数は少ないですが、新たに誕生したものもありました。

こうして、これまでの多くの字名や俗称、屋号、耕地名などが新たにまとめられた結果、土地の特徴を細かく表した地名の多くは消失しました。これらの地名は幾つかの限られた文書や絵図に残されたのみで、後世に伝えられることはほとんどなかったため、人々の記憶から忘れ去られていったのです。

(いわき地域学會 小宅幸一)

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課(☎22・7503)までご連絡ください。

リレートーク 251

地域が主体となって 活気ある町をつくる

Q 江名の町再生プロジェクトについて教えてください。

江名は、漁業の衰退による人口減少で過疎化が進み、さらに東日本大震災では、津波による被害を受けました。貴重な材料で造られた建物が解体されていく中、これらを地域の宝として生かしつつ、網元の町としての歴史や、食を含めた文化を継承しながら、江名を「活気ある町にする」ことを目的として平成二十六年に立ち上げました。

Q 具体的な取り組みについて教えてください。

毎年江名港を中心に、バイク愛好家など市内外から二千人以上が来場し、サンマ焼き体験などさまざまなイベントを行う「海あるき町あるき江名の町再発見」と、海産物を中心



坂本勝吉さん

江名の町再生プロジェクト会長。幅広い活動の中で培った経験を生かし、自身の地元である江名に活気を取り戻す活動に取り組む。

市民のつるま

とした江名伝統の家庭料理を広く味わってもらおう「江名のおばちゃま食堂」を取り組みの柱として実施しています。

また、町づくりについて考えるワークショップを定期的に開催し、将来もずっと住み続けられる町の実現を目指して取り組んでいます。

Q 活動を通してどのようなことを感じますか。

住民をはじめとする地域が主体となって活動しているの、これまでなじみがなかった住民同士でコミュニケーションが図られるようになり、地域の連帯感や結束が強まってきていると感じています。

海あるき町あるき江名の町再発見は、関係機関や団体の協力の下、PRなどを行い市内外から多くの方が



雨の中多くの方が集まった昨年の「海あるき町あるき江名の町再発見」

来てくれるので、江名の知名度の向上につながっていると思います。

Q 今後、どのような活動を展開していきたいですか。

カジキ釣りのイベント「マリライフステイバルin江名」の開催や、古民家に滞在し、地域住民との交流を通して江名の魅力を体験することにより、将来的な移住のきっかけにしよう「ブルーツーリズム」を実施する予定です。また、現在はイベント時などに臨時開店している江名のおばちゃま食堂を、常設店として営業したいと考えています。

そして、このような活動の成果を踏まえながら、地域の将来像を描いた町づくりの計画となるグラウンドデザインをみんなで作っていきたくです。



ワークショップでは地域住民が主体となってさまざまなテーマについて協議

こんにちは市長室から ③③



市長の日程

いわき市長 清水敏男

分刻みでこなす市長の公務。新聞などにも週間行事予定として掲載されていますが、それは限られた主なものだけです。土・日曜日や祝日も関係なく、目まぐるしい日程を自分の体力が続く限り、精いっぱい務める日々が続いています。特に「大忙し!」であった先月の行事予定を例にその一端をご紹介します。

まず、15日間を会期とする市議会6月定例会、19年ぶりに来訪された天皇、皇后両陛下

のお出迎え、南相馬市での全国植樹祭、イオンモールいわき小名浜オープニングセレモニー、市消防幹部大会への出席、次に、東京大学先端科学技術研究センターとの協定締結記念講演会、仙台市および東京都での小名浜港整備促進に係る要望活動と続き、さらに新聞社主催による市内企業等の若手社員・職員との座談会などとなっています。

この他にも、各種行事や会議、打ち合わせ、面会など多種多様な公務をこなしています。

市長就任から現在まで、公務に大きな穴をあけることなく職責を全うすることができているのも、丈夫な体に生んでくれた両親のおかげであり、今後も感謝の気持ちを忘れることなく、ふるさといわきの復興にまい進してまいります。